

学校スローガン

「自分で決めてトライ！みんなでもっとチャレンジ！」

緑小だより

令和6年12月24日(火)発行 NO.33



留萌市立緑丘小学校

収穫の2学期終了！～ご支援とご協力に感謝！～

校長 西條直志

12月に入り寒さも一段と厳しくなり、例年通りに白い雪が降り続け、今年も残すところあと一週間ほどとなりました。地下からの漏水による想定外の臨時休業が1日ありましたが、82日間の2学期を、大きな事故や怪我等もなく、無事に終わられることを大変うれしく思っています。これもひとえに保護者、地域の皆様方のご支援とご協力の賜と、深く感謝申し上げます。

まだまだ暑さの厳しい8月23日(金)からスタートした今学期の教育活動を、簡単に振り返ってみたいと思います。2学期早々に、5年生にとっては一大行事の宿泊研修がありました。カヌーやボート、ウォークラリーに挑戦し、初めてクラスの仲間との1泊2日を体験しました。6年生での修学旅行に向けての大きな収穫がありました。9月には、チャレンジの丘を復活させました。外遊びも増え、ちょっとした体力の向上につながりました。10月には学芸会を行いました。劇にダンス、音楽と、より表現力の幅を広げると同時に、学級の絆も深まりました。また、PTAによる「夜のウォークラリー」も行われ、仮装をした子どもたちが、暗い校内での探索を楽しみました(Mr.Sは失笑を買いましたが…)。11月には本校の研修の成果を発表する実践交流会を開催し、4年生の算数の授業を公開しました。管内の多くの教員や教育大准教授の先生から、多くの学びを得ることができました。6年生は三校交流学習を行い、東光小と潮静小の6年生との交流を通して、



5年生 宿泊研修



1年生 初めての学芸会

中学校生活への不安を払拭し、より期待を高めることができました。また、どの学年も、地域の方のご協力により、校外での体験学習が充実した学期でした。神居岩公園や市立図書館、水産加工場や留萌港、黄金岬など、留萌ならではの学びをたくさん積み上げることができました。これらの体験により、地域への愛着や理解が深まり、地域の一員としての意識も高まったと考えています。まさに、子どもたちにとっても、我々教員にとっても、収穫の多い2学期になったと考えていますが、今学期末の保護者・児童・教職員によるアンケート結果を分析・考察し、さらなる学校改善に努めてまいります。



4年生 実践交流会

明日からは、23日間の冬休みに入ります。終業式で子どもたちに話すことは、基本的に夏休みと変わりはありません。1については、歩道の狭さや凍結、雪山による見通しの悪さ、落雪、車のスリップ、除雪車

- 1 自分の命は自分で守る！
- 2 お勉強は計画的に！
- 3 長い冬休みにしかできないことにトライ！



や排雪車の運行など、夏とは違う危険が増えています。ご家庭におきましても、日頃からの注意喚起をお願いいたします。2については、ある調査で「学校が休校になった場合に、自律学習を行う自信があるか」という設問に対して、日本の子どもは「自信がある」と回答した割合が37カ国中34位と、国際的にも低いというデータがあります。時間割のない冬休みに、ぜひ計画を立てて、自分から課題や自主学習に取り組む習慣を身に付けてほしいと思います。3については、いつもより自由な時間が増えることから、ついだらだらとゲームをやり過ぎたり、動画を見過ぎてしまったりするかもしれません。ぜひ、興味のあることや苦手なことにどんどんトライしてほしいと思います。スキーや外遊びでの体力づくり、作品づくりや読書、持ち帰っている端末を使つてのAIドリル(キュビナ)やタイピングの練習などに、積極的に挑戦してほしいなと思います。

結びになりますが、今年の1年間の皆様方のご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、2025年も本校への変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。皆様、どうぞよいお年をお迎えください。

★いじめアンケートの結果から★

本校では年2回の「いじめアンケート」を行っています。今年度の結果は、「かるくぶつかられる」「悪口を言われる」など、22件の訴えがありました。本アンケートは、いじめの早期発見・早期対応を目的としているため、些細な事例も対象に含んでおり、上記のような件数になっております。いずれも丁寧に聞き取り、その後の見守りや適切な助言などにより、全て改善・解消されています。日常の指導に加え、各教科の授業で子どもたちが活躍できる場をつくらせたり、道徳の授業を充実させたりするなど、子どもたちの心に寄り添いながら指導を継続させたいと考えております。

今後とも「みんなにとって安心感、のある学校づくり」に努めてまいりますので、保護者のみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。



1月 行事予定

- 1日(水) 元日(Happy New Year!!)
- 17日(金) 第3学期始業式(全校5時間)
- 20日(月) スキー学習(3・4年:沼田)
- 21日(火) 児童会活動、身体測定(1年) スキー学習(1年:グラウンド)
- 22日(水) スキー学習(5・6年:増毛) 身体測定(2年)
- 23日(木) 身体測定(3年)
- 24日(金) スキー学習(1年:グラウンド) 身体測定(4年)、諸費納入日
- 27日(月) スキー学習(1・2年:沼田)
- 28日(火) 身体測定(5年)、PTA広報会議
- 29日(水) スキー学習(3・4年:沼田) 身体測定(6年)
- 31日(金) スキー学習(5・6年:増毛)

学校閉庁日について

12月28日(土)～1月5日(日)

学校閉庁期間中の電話は、留守番電話対応となります。緊急連絡は、留萌市

教育委員会(42-3006)までお願いいたします。

【緑丘小冬季休業】 12月25日(水)～1月16日(木)

インターネットの情報を うまく見分けよう！

➤ これ、本当に正しい？ちょっと確認してみよう

SNS や動画サイトは、友達とつながったり、情報をすぐに得たりできる便利なツールですが、その中には嘘の情報や感情に働きかけるような内容もあります。例えば、「あの事件の真実は…！」という投稿を見たとき、その情報が本当に正しいか疑ってみることが大切です。最近では、本物に見える嘘の動画や画像も増えています。情報が本当かどうか冷静に考えることが重要です。

では、どうすれば嘘の情報にだまされないようにできるのでしょうか？

➤ だまされないための3つのポイント

① どこからの情報なのか確認しましょう

情報の出どころや根拠としているものを確認し、かたよった意見や間違っただ情報にまどわされないよう、信頼できるメディアや公式サイトを優先しましょう。

② 感情的にさせる情報に注意しましょう

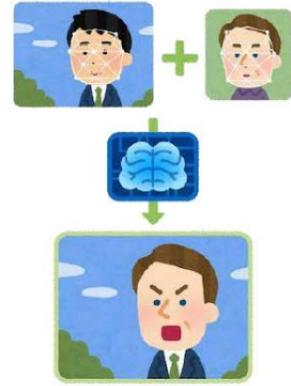
怒りや不安を引き出す情報は感情的な反応を呼び起こしやすく、拡散されやすい特性があります。例えば、「〇高校の生徒が悪いことをしている！」という怒りを引き起こす投稿は、多くの人に広まりやすく、正しい判断を鈍らせることがあります。そのため、冷静に情報を確認することが大切です。

③ 他の情報とくらべてみましょう

見たり聞いたりした情報をそのまま信じるのではなく、他の情報とくらべておかしい点がないかを確認することが重要です。

SNS や動画サイトで見た情報が必ず正しいとは限りません。もし気になる情報を見たときは、冷静に他の情報を確認したり、大人に相談したりすることが大切です。これらのポイントを守って、情報をしっかり見極めましょう。

◎本資料は北海道教育委員会の委託を受けてポルトゥウィン株式会社が令和6年12月に作成したものです。



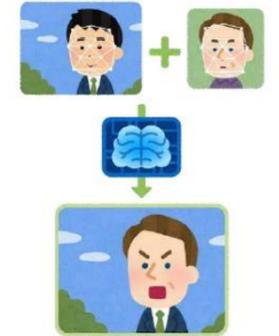
AIで顔を入れ替えた動画を簡単に作ることができます。

SNSや動画サイトの嘘の情報に 惑わされないために

SNSや動画サイトは、日々の情報収集やコミュニケーションに欠かせないツールとなっています。しかし、その便利さと同時に、事実に基づかない情報や虚偽の内容が広がるリスクもあります。

ネットに広がる嘘の情報とその危険性

近年、情報のエンターテインメント化が進み、感情をかき立てるような見出しや内容が目立つようになりました。このような情報は、事実よりも感情的な反応を引き出すことを目的として広まりやすくなっています。例えば、SNS上に偽の画像やAIで作られたフェイク動画が広がり、その情報の受け手が誤った認識をもってしまふケースが報告されています。このような情報は、私たちの判断や行動に影響を与え、時には社会全体の混乱を招く可能性があります。



AIで顔を入れ替えた動画を簡単に作ることができます。

嘘の情報に惑わされないための3つのポイント

① 情報源を確認する

情報がどこから来ているのか、その発信元や根拠としているものを確認しましょう。信頼できるメディアや公的機関など、実績のある情報源から発信された情報を優先して参照することが大切です。

② 感情に訴えかける内容に注意する

情報が感情的な反応を引き出そうとする場合、その内容に注意が必要です。例えば、事件に勝手なストーリーをつけて興味を引き、誤った情報を広めたり、正義感をあおって特定の人に批判が集中する流れを作ろうとする場合があります。情報の真偽を冷静に確認することが重要です。

③ 他の情報源と照らし合わせる

単独の情報に頼るのではなく、複数の信頼できる情報源を参照して、事実関係を確認しましょう。異なる視点からの情報を集めることで、真実に近い情報を得ることができます。

家庭での指導

SNSや動画サイトは情報を手軽に得られる便利なツールですが、その中には虚偽の情報や感情をあおるような内容が潜んでいることがあります。正しい情報を得るためには、目の前の情報を鵜呑みにせず、落ち着いて上記で挙げたポイントを確認することが大切です。子どもがそのような情報に触れる機会も増えています。SNSや動画サイトで見かけるうわさ話や誤った情報を取り上げ、それがどのように広がっていくのか、なぜ広がってしまうのかを子どもと一緒に考えてみましょう。その中で、普段接している情報の中にも、間違っていたり、誰かを騙そうとしている情報が含まれていることを、子ども自身が気が付くことが大切です。



◎本資料は北海道教育委員会とポルトゥウィン株式会社が令和6年12月に作成したものです。子どもたちのインターネット利用に関わる相談等がありましたら、下記のURLまでご相談ください。
◀北海道教育委員会ネットトラブル未然防止のための総合ヘルプサイト▶
<https://webreport.public.ptw.jp/hokkaido/helpsite/>